



モバイルブロードバンドの発展と 計測ビジネス ～LTEへの取り組み～

2010年7月29日

アンリツ株式会社
代表取締役 専務執行役員
計測事業グループプレジデント
田中 健二

東証第1部:6754

<http://www.anritsu.com/ja-JP/About-Anritsu/Investor-Relations/>

Discover What's Possible™

Copyright© 2010 Anritsu Corporation. All rights reserved

Anritsu

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や
競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引
き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- モバイルブロードバンドの発展とアンリツのビジネス
- LTEへの取り組み
- 具体的な成果と今後の展開
- Appendix

モバイルブロードバンドの発展

1



スマートフォン



多機能情報端末

IT系企業などの
新規プレイヤーの
参入



豊富なアプリケーション、サービスの増加

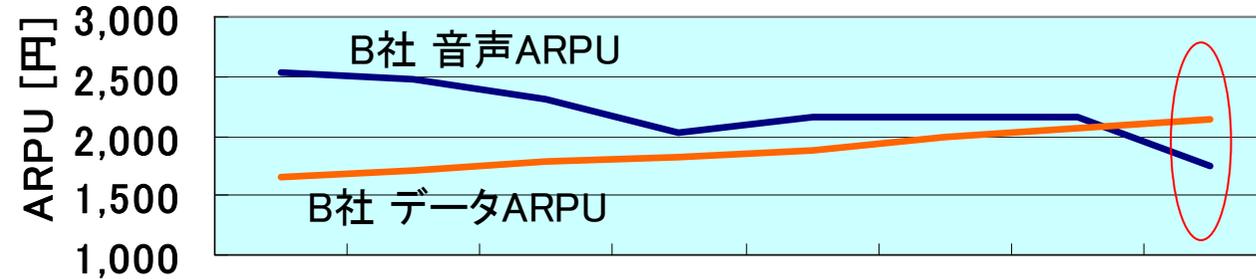
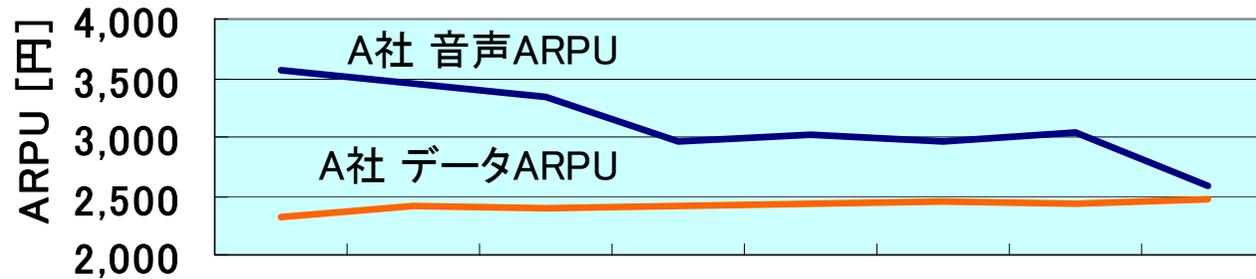
無線通信の高速化需要
ネットワークの大容量化需要



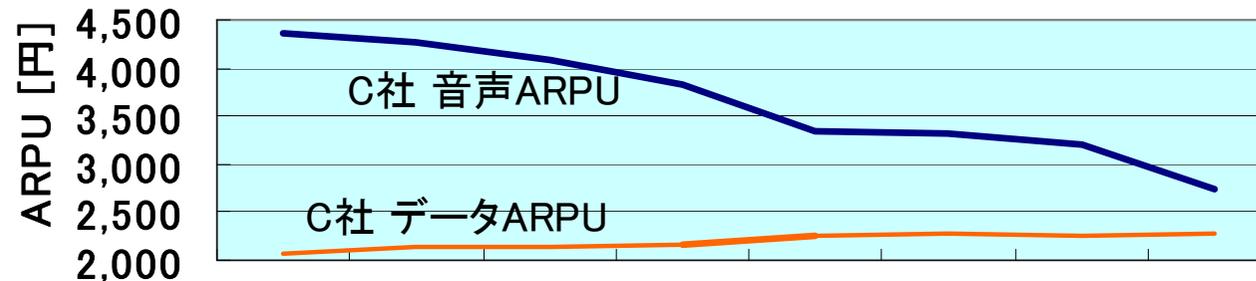
新たな携帯通信規格、ネットワークの整備・拡充

モバイルアクセス系: トラフィック急増 (LTE、HSPA+へ移行)
モバイルバックホール: メタル→光化、マイクロウェーブ化
コアネットワーク: 高速・大容量化 (40G/100G) 需要

音声ARPU/データARPUの推移



データARPUが
逆転



FY08Q1 FY08Q2 FY08Q3 FY08Q4 FY09Q1 FY09Q2 FY09Q3 FY09Q4

注) ARPU: 加入者一人あたりの月額売上高

通信事業者各社の開示資料より

サービスやアプリケーションの普及を支えるネットワーク・インフラ



- ・携帯端末の高速化・大容量化
- ・モバイルブロードバンドに対応したネットワーク増強

携帯端末:

2G

→3G/3.5G

→LTE

(サービス/アプリ拡充)

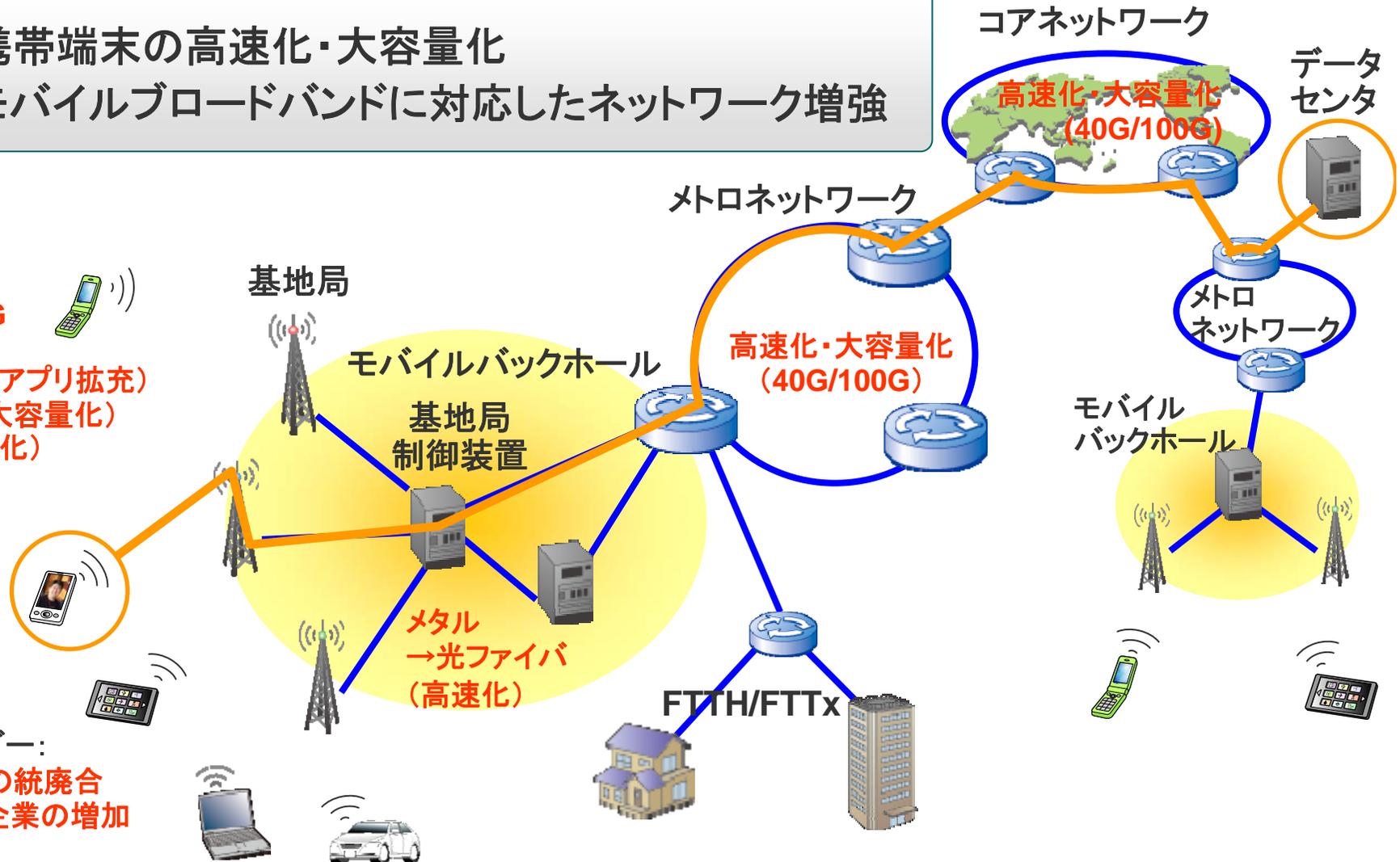
(高速化・大容量化)

(技術の進化)

端末ベンダー:

既存企業の統廃合

IT系参入企業の増加



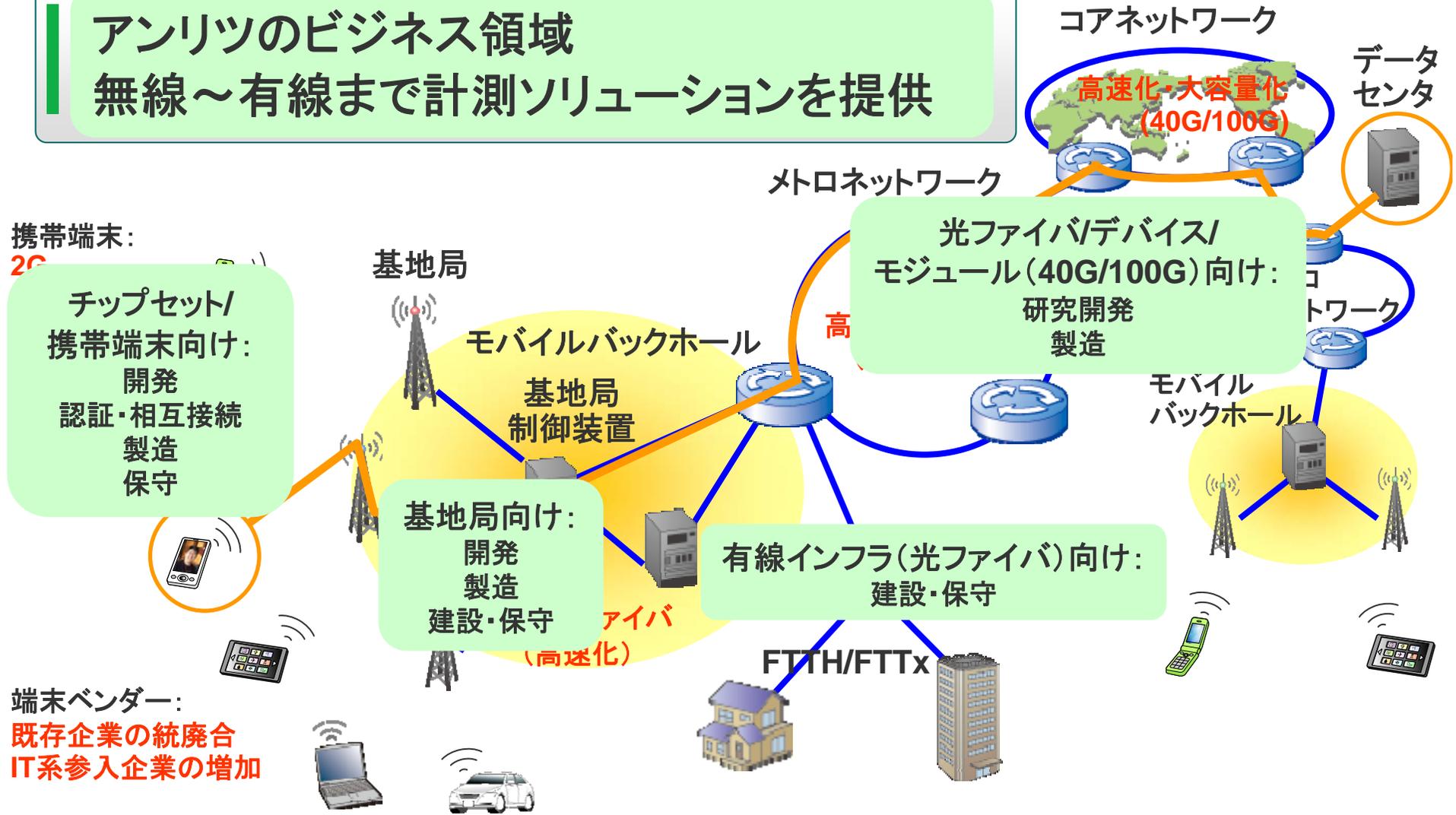
Discover What's Possible™

Anritsu

サービスやアプリケーションの普及を支えるネットワーク・インフラ



アンリツのビジネス領域
無線～有線まで計測ソリューションを提供



携帯端末:

2G

チップセット/
携帯端末向け:
開発
認証・相互接続
製造
保守

端末ベンダー:

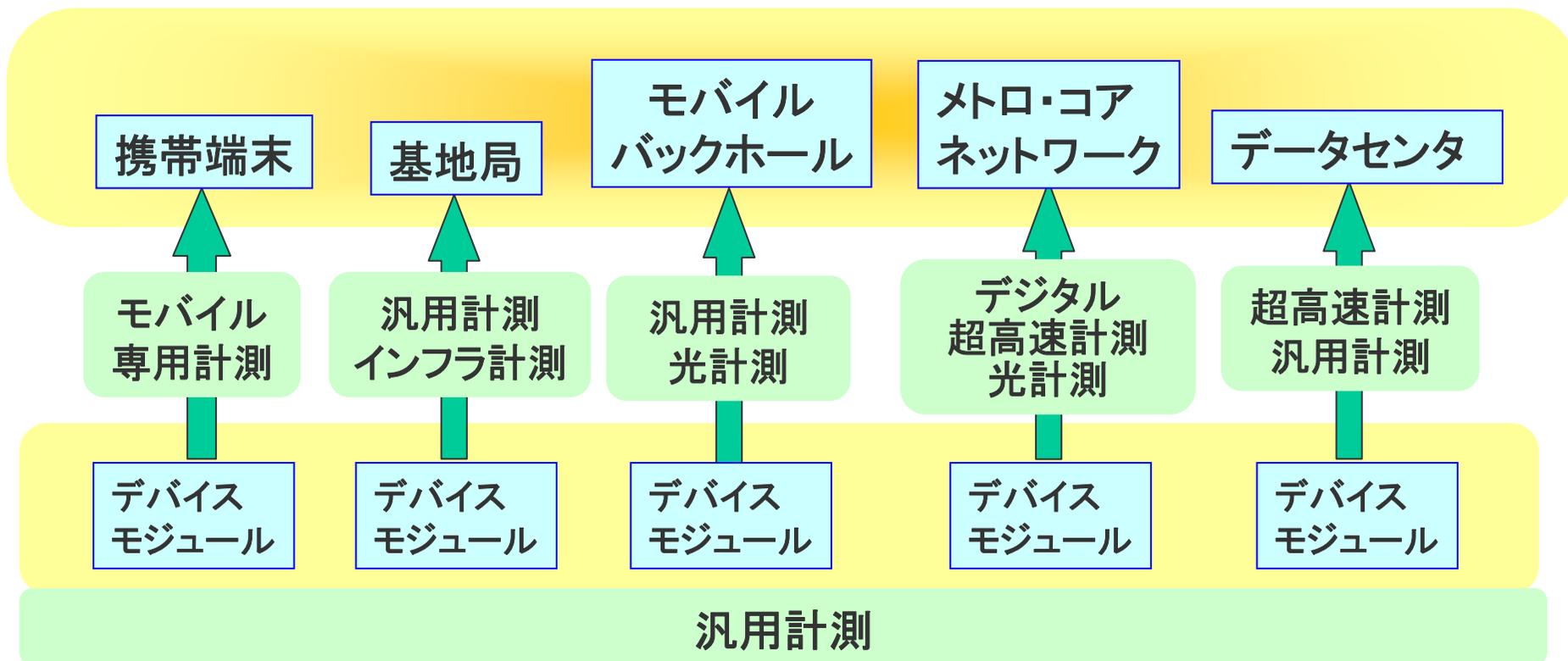
既存企業の統廃合
IT系参入企業の増加

Discover What's Possible™

Anritsu

サービス/アプリケーションの普及を支えるデバイス群

1



Anritsu

全ての領域で計測ソリューションを提供

1. チップセットベンダー、携帯端末ベンダーとの良好な関係を維持し、常に先行して開発用/認証用計測ソリューションを提供する。
2. リーディングオペレータへ相互接続試験を提供し、端末ベンダーへの展開を図る。
3. スマートフォンなどの新規参入企業の顧客サポート体制を強化し、ビジネス拡大を目指す。

ネットワークの広がり と 計測ビジネス



LTE商用化の表明：80通信事業者(33カ国)
導入時期と普及のスピード：各国/各通信事業者によりまちまち
⇒ネットワークインフラ用計測を中心に長期にわたるビジネス

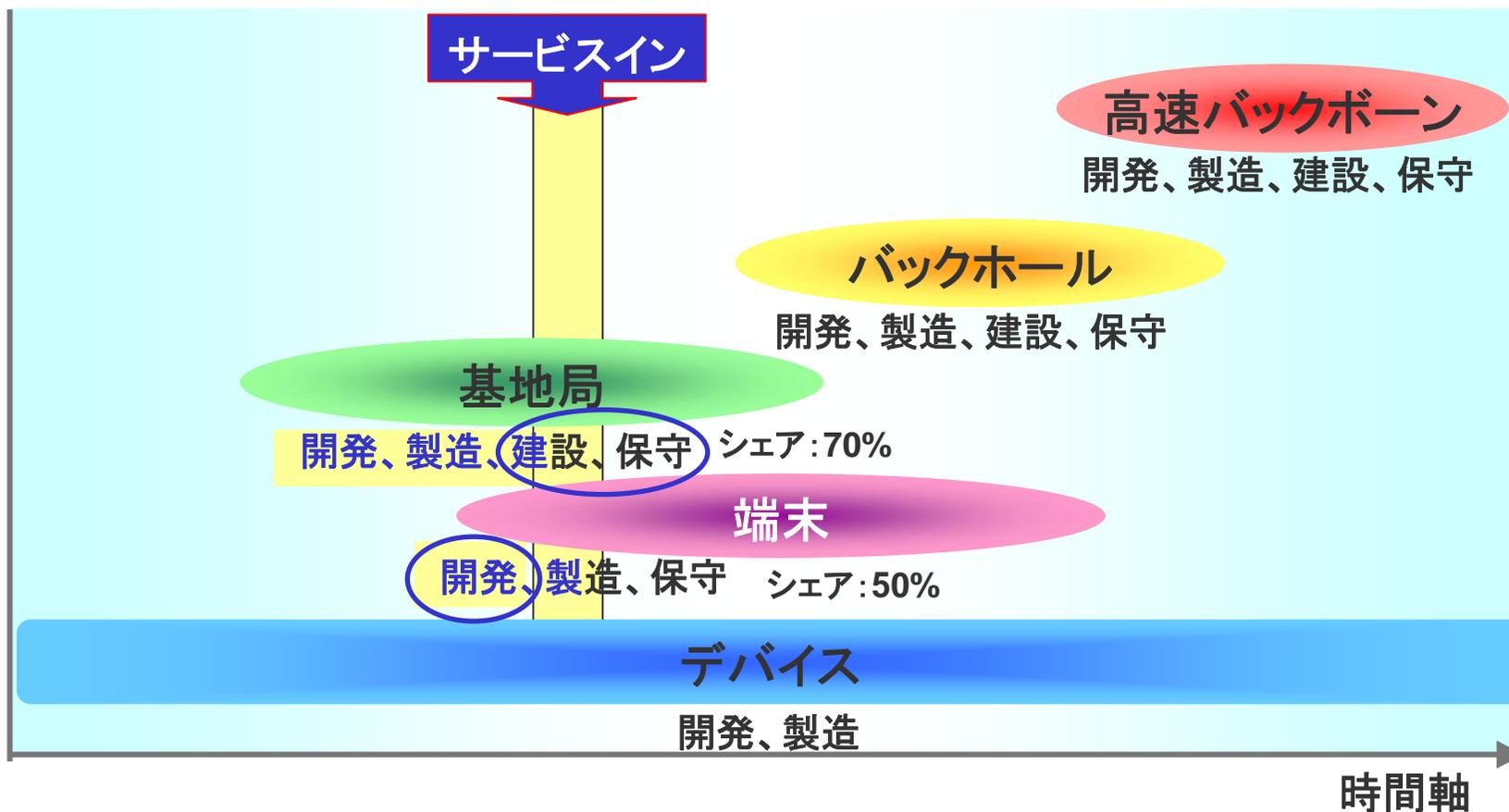


注) 2009年にTeliaSoneraが欧州の一部で商用化

計測市場の展開

1

デバイス～端末/基地局～モバイルバックホール～コアネットワークまで
⇒裾野が広くかつ長期にわたるビジネス



サービス、アプリケーションの増大
⇒サービス、アプリケーションの品質を確保するための
ソリューション需要

認証試験(コンフォーマンステスト)

端末と基地局の通信手段に対する共通規格への適合性を試験
→ チップセットから端末まで適合性の確認が求められる

相互接続試験(インターオペラビリティテスト)

通信事業者特有のサービスを含めて、その接続性を試験
→通信事業者ごとに試験が必要であり、端末は適合が求められる

【実績】

1. W-CDMA向け計測ソリューションにおいて、
 - ・世界初の計測ソリューションを提供
 - ・リーディングカスタマーとの堅固な関係
 - ・高い技術力、サポート力
2. 無線～有線まで、計測ソリューションを保有

アンリツの具体的な成果と今後の展開

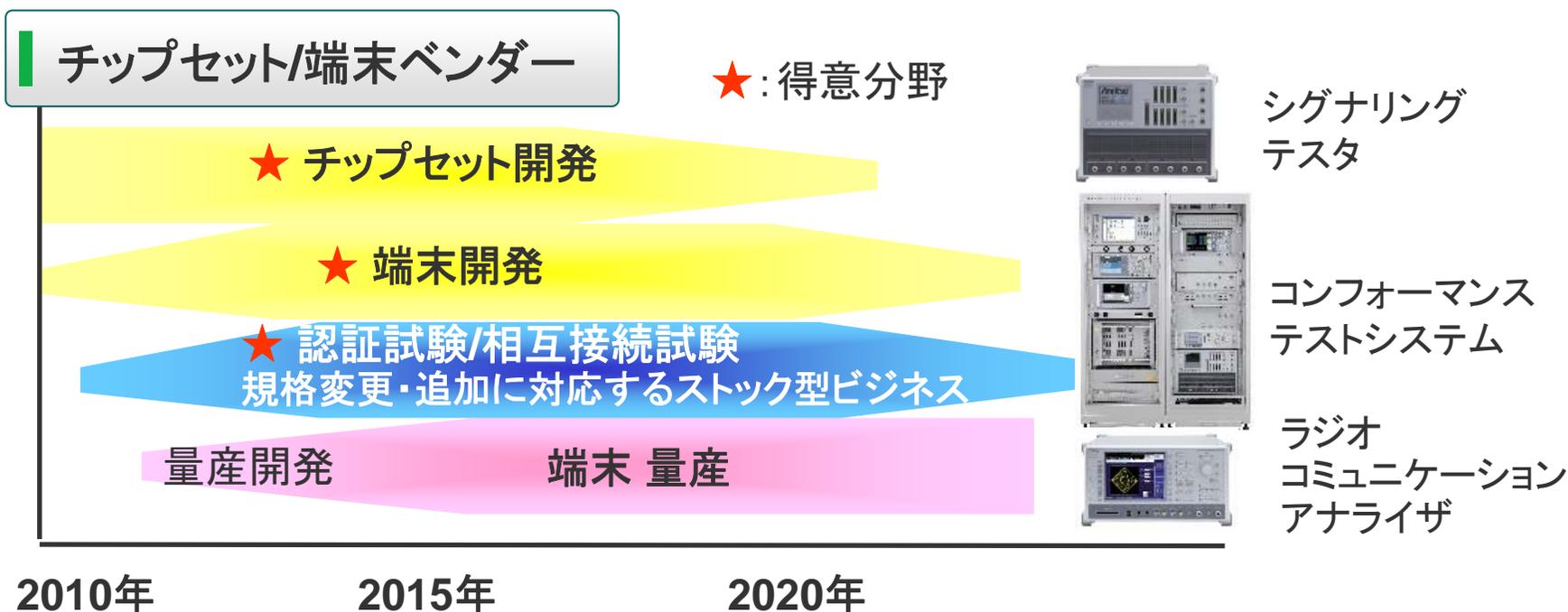


項目	成果	時期	今後の展開
日本 NTT DoCoMo及び国内端末ベンダー向けソリューション	チップセット開発用計測のビジネスを独占的に獲得	2009年3月期 2010年3月期	個別端末開発用計測器や認証・相互接続試験等へのビジネス拡大
韓国 LGとの協力関係「Mobile Word Congress」(スペイン)	LG社のLTE USBモデムの測定デモンストレーションを実施	2010年2月	LG社との関係を強化し、ビジネス拡大
アメリカ Verizon Wireless 向けソリューション	基地局建設保守用計測器としてアンリツのBTSマスターを選定	2010年3月	基地局建設保守用のデファクト計測による安定ビジネスの拡大
RF/プロトコルの認証システム	GCF(認証団体)認証を取得(業界をリード)	2010年4月	重要なチップセットベンダーでの受注を足がかりに、端末ベンダーへ展開
韓国 Samsungとの協力関係「NGMN Industry Conference & Exhibition2010」(中国)	サムスン社のTD-LTEデバイスとの接続デモンストレーションを実施	2010年6月	サムスン社とFDD/TDD LTE両方で協調関係を継続し、ビジネス拡大
中国 China Mobile 向けソリューション (TD-SCDMA)	プロトコル認証システムの受注獲得 (TD-SCDMA対応はアンリツのみ)	2010年6月	TD-SCDMAからTD-LTEへ継続的にサポートし、中国ビジネスを拡大 納入している端末ベンダーへのビジネス拡大
大手通信機器ベンダー向けソリューション	基地局製造向けビジネスの受注獲得	2010年6月	継続サポートによる製造向けビジネスの拡大

Anritsu

Discover What's Possible™

Appendix: チップセット/端末の需要とソリューション



強み: チップセット、携帯端末の開発/認証用計測ソリューション

(3G開発用・認証用計測: グローバルシェア70%)

取り組み: 携帯端末と基地局の認証を試験するコンフォーマンステストを、
有力なチップセットベンダーに採用いただくことにより、そのチップセットを
使用する端末ベンダーまで計測ビジネスを拡大。

Appendix: 通信事業者(無線)の需要とソリューション

通信事業者(無線)

★: 得意分野

★ 認証試験/相互接続試験
規格変更・追加に対応するストック型ビジネス

★ 基地局 建設・保守



パフォーマンス
テストシステム



基地局アナライザ
エリアテスタ

2010年

2015年

2020年

LTEの導入時期は地域・国により大きな差があります。

強み: 相互接続試験ソリューション(3携帯の相互接続試験: グローバルシェア70%)

建設・保守用計測ソリューション(ハンドヘルド): グローバルシェア70%

取り組み: 種々の通信方式の携帯端末や基地局との接続性を試験するインターオペラビリティテストは、重要なオペレータに採用いただくことにより、端末/チップセットベンダーまで計測ビジネスを拡大。

ハンドヘルド計測器は、高いシェアを維持している競争優位と、顧客との良好な関係を継続・向上しながらビジネス拡大。

Appendix: その他の需要とソリューション

